



3学年通信

最終号

上田市立第五中学校3学年会

令和5年3月14日(火)

文責 井出

ご卒業おめでとうございます

3年生の皆さん、そして保護者の皆様、明日は卒業式です。ご卒業おめでとうございます。明日をもって、小学校と中学校での9年間の義務教育課程を修了することとなりました。

皆さんの中学校生活は、まさに「新型コロナウイルス」とともにありました。

入学して、玄蕃山散策に行った直後から自宅での学習を余儀なくされ、分散登校を経ての本格的な中学校生活となりました。毎日、マスクをし、給食は前を向いての黙食でした。様々な行事が縮小されたり、リモートでの開催であったりもしました。

中学校生活最後の1年間も、楽しみにしていた“京都・奈良”への修学旅行は、県内での旅行に変更されて行われました。常に、感染対策に気を使いながらの鳳祭や中体連の大会、コンクール、そんな中でも、自分たちに今できることは何かを考え、ベストを尽くして、最高学年として学校を引っ張ってきてくれました。

話を別の視点からしてみたいと思います。

今年の夏の甲子園大会では、長い歴史の扉が開き、108年目(この“108”という数字にも白球への繋がりを感じます)にして、深紅の大優勝旗が「白河越え」を果たし、東北に渡りました。優勝後の仙台育英高校の須江航監督のインタビューもたいへん印象的でした。皆さんに置き換えて引用させていただくと、「入学どころか、おそらく小学校(正式には、中学校)の卒業式もちゃんとできなくて、中学生活(正式には、高校生活)はなんとというか、僕たち大人が過ごしてきた中学生活(正式には、高校生活)と全く違うんですが、青春って、すごく密なので、そういうことは全部ダメだダメだと言われて、活動してもどこかでストップがかかって。どこかで止まってしまうような苦しい中で、本当に諦めないでやってくれた」と話していました。3年生の皆さんと同じですね。私も強く共感しました。皆さんは、どうでしょうか…。

そうしたコロナ禍にあっても、皆さんは入試に向けて動き出し、自分自身のこれからについて真剣に悩み進路を選択してきました。17日(金)に後期選抜の結果発表を控えています。全員の進路実現が叶うよう心から祈っています。また、春休みは高校生活に向けた準備期間でもあります。すでに課題が出されている高校もあると思います。適度にリフレッシュしながら、自主的に学習する習慣を身につけていきましょう。

保護者の皆様におかれましては、日々の学級・学年・学校の教育活動へのご理解とご協力をいただき、無事に卒業の日を迎えることができました。3年間支えていただき、誠にありがとうございました。

ドラえもんからも卒業しましょう。

皆さんは、多くの人に守られ、支えられて生きてきました。まるで、のび太くんの隣にいつもドラえもんがいるようです。のび太くんが困ったときに「どこでもドア」や「タケコプター」などで助けてもらったように、皆さんは保護者の方や友達や先生方に見えるところで、そして目に見えないところで助けられてきました。

しかし、これからは更に自分の力で考え、行動していくことが、だんだんと必要になってきます。そればかりか、親や好きになった大切な人を助けたり支えたりすることも求められます。

いつまでもドラえもんをあてにしていられないのです。

いつになったら皆さんは、のび太くんを越えられるのでしょうか。

しかし、そうは言っても、時間を使ってじっくり考えて、行動してみたのに壁にぶちあたることだって絶対あります。そんな時には、周りを見渡して欲しいです。温かな家族や友達や先輩や後輩という限りない「四次元ポケット」があるはずですよ。

3 学年の先生たちからのお祝いのメッセージ

F 先生

卒業おめでとうございます。

この3年間、様々なことがありました。その都度、自分たちの力で乗り切ってきたみなさん。本当に「生きる力」のあるメンバーだと感じています。その源はみなさんの「素直さ」でしょう。これは、今後の人生の中でも生かされていくと思います。「自分を大切に」しながら、「相手を思いやる」気持ちをもって。新しい世界へ進んでいってください。

3年間、ありがとうございました。

S 先生

卒業おめでとうございます！

みなさんと出会ってもう3年が経ちます。あの頃よりもはるかに大きく、たくましく、そして頼もしくなりましたね!!今年度は生徒会スローガン「カラフル」に向かって全力疾走しました。3年生のあたたかい雰囲気が全校に伝わり、すてきな生徒会を創りあげてくれました。「全力には全力が返ってくる」私はそう考えて、突っ走ってきました。いつも本気で応えてくれたみなさんに感謝です。この学年で過ごせた3年間はずっと心に残る私の宝物です。ありがとう(*^^*)

S 先生

ピンチはチャンス!!

Y 先生

 **ご卒業おめでとうございます** 

3年前の4月3日、コロナ感染拡大のため入学式ができるかわからない!!各家庭の緊急連絡先を準備していたことを覚えています。皆さんは、コロナ過でも、何ができる?どんなことができる?と仲間達のため、後輩達のために必死に考えている姿がとても素敵でした☆

3年生 152名と授業で、担任として関わることが一番の幸せです。3年間ありがとうございました。

F 先生

ご卒業おめでとうございます。

3学年目標「画竜点睛」みなさんが過ごした中学校の3年間、例年通りに行えないことも多々ありましたが、卒業へ向かって「完璧な姿」を目指し、日々の歩みを進めたみなさん、とても立派でした。「あたたかさ」を持ったみなさんと3年間担任として関わることができたこと、とてもうれしく思っています。「五中のあたたかさ」をこれらも大切にしてください。3年間ありがとうございました。

M 先生

3年生の皆さんと出会って、たった1年でしたが、皆さんの「気遣い」や「思いやり」に心が温くなる毎日でした。そして、皆さんと共に創り上げた合唱も心に残っています。それぞれのクラスの個性を生かした感動的な合唱、きっと皆さんの心にも深く刻まれていることでしょう。

さあ、いよいよ旅立ちの時。この学年で歌う最後の合唱を最高のものにして大きく羽ばたいていきましょう。

ご卒業おめでとうございます。

I 先生

3年生の皆さん、そして保護者の皆様、ご卒業おめでとうございます。3年生の皆さんとは、1年生の時には1組と5組、2年生の時には2組、3年生の時には2組と3組と多くの皆さんと授業をさせていただきました。私が毎回提示する「学習問題」に対し、「見通し」を自分の言葉で書き、発表してくれました。この“見通しを持つ”ということは、これからの人生においても大きな幸せへの要素となります。数学で培った力を大切に輝かしい未来を願っています。

M 先生

3年生の皆さんご卒業おめでとうございます。3年生になってからの一年間はあっという間に過ぎていってしまったのではないのでしょうか。学習、部活、生徒会、合唱など皆さんの頑張る姿をたくさん見てきました。何事にも夢中で一生懸命になれる皆さんの姿を見ると私も刺激を受けます。とても素敵なおことです。これからそれぞれの道を歩む皆さんですが、第五中学校で学んだことを忘れず、この先も頑張ってください。

N 先生

3年生の皆さん、卒業おめでとう。コロナ禍の中、いろいろな制約があり、我慢を強いられることの多かった3年間だったと思います。でも、そんな状況にも不満や弱音も言わず、自分たちで工夫して楽しもうとしていた姿は本当に素晴らしいと思いました。また、君たちの何気ない「おはようございます」や「ありがとうございました」の言葉に、私はいつもエネルギーをもらっていました。本当にありがとう。君たちのこれからに大いに幸あれと願っています。

置かれた場所で咲きましょう ~咲くということは、仕方がないと諦めることではありません。それはあなたが笑顔で生き、周囲の人々も幸せにすることによって、神様があなたをここにお植えになったのは間違いでなかったと、証明することなのです。どうしても咲けない時もあります。雨風が強い時、日照り続きで咲けない日、そんな時には無理に咲かなくてもいい。その代わりに、根を下へ下へと降ろして、根を張るのです。次に咲く花が、美しいものになるために。~
(「置かれた場所で咲きなさい」 渡辺和子 幻冬舎より)